

いっばんしゃだんほうじん みはらむら しゅうらくかつどう

一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ

～へき地で、村の存続をかけた総合的な取り組み～



大盛況だったやまびこカフェ開店1周年



老若男女で賑わう卓球大会

経緯

- 平成19年頃より「限界集落」という言葉が注目されるなか、村内で高齢化率 60%の集落も出始め、役場をはじめ村民は、村の存続の危機を感じていた。
- 平成28年、村内14集落の区長他諸団体の合意を得て、官民一体となって村の存続をかけ、集落活動センターの取組をスタートした。

取組内容

- おかみさんたちが、地元の食材で日替定食や弁当を提供。
- 健康増進を図るため卓球大会、カラオケ大会等を主催。また、高齢者や共働き家庭の生活支援のため、コインランドリーを運営。
- こんにやく芋の栽培から製造販売まで行う手作り刺身こんにやくは、イベントやインターネット等で販売。高齢者を中心に、それぞれの能力に応じた作業に従事するしとう栽培を開始。

活動の効果

- 日替定食や弁当は、近隣の町村からも多数来店があり人気を博している。
- 地域の課題やニーズに応じて、福祉や産業といった様々な活動に総合的に取り組むことで、村民が楽しく元気に暮らせる仕組みづくりはできつつある。
- コロナ禍にありながらも特産品のイベント等における売上額は維持しており、農業の生産活動の継続につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

村民は集落への「愛着」や「誇り」を抱きながら「今後も住み続けたい」をいう強い思いを持っており、センターは今後もサポートしていきたい。